

院内散策

タイからの留学生

タイのソンクラーン王子大学医学部6年生 ワラワン リラパンさんが6月29日から3日間、当院の耳鼻咽喉科 瀬戸由記子医師のもとで実習体験をされました。そのときの感想をいただきましたのでご紹介いたします。



瀬戸医師(左)と
ワラワン リラパンさん(右)

This hospital has "goodwill" as its name. The 1st impression of mine is kind and friendly staffs, they welcome me as welcome home. Even I'm a foreigner but I don't feel like that. It's a good experience being exchange student in Japan. I learnt a lot about procedure, knowledge, and management of disease that difference from my country. These new experiences activate learning and motivated me to improve my skills. Next year, I am going to train as ENT doctor. After I come back to Thailand, I will try harder, to be a good doctor as well as the people I met here. Special thanks for Dr. Yukiko Seto for giving the chance to come this hospital. She gave me also a happy and precious memory of this country. This experience make me LOVE JAPAN moreover, and I want to come back again and again.

この病院は「親善」という名を掲げています。病院の第一印象は、スタッフが親切でフレンドリーであることです。彼らは私を温かく迎えてくれ、私は自分が外国人であると感じないほどでした。私にとって、日本での留学実習経験はとてもし有意義なものでした。

私は自国タイとは違った多くの治療、知識、病気の扱いを学びました。これらの新しい経験は、学習意欲を高め、技術を改善する動機づけとなると思います。

来年、私はタイで耳鼻科医となるためのトレーニングを開始します。帰国してもここで出会った人たちのように良き医師となれるよう努力するつもりです。

この病院での実習の機会を与えてくれた瀬戸医師に感謝します。

日本で、たくさんの素敵な、大切な思い出を作ることができました。私は今まで以上に日本を大好きになりました。これからも何度も何度も訪れたいと思います。

病院だより

International Goodwill Hospital

外科手術体験キッズセミナー開催

亀山 哲章

おしょうすいが気になりませんか？

村井 勝

タイからの留学生

ワラワン リラパン

国際親善総合病院

〒245-0006 横浜市泉区西が岡 1-28-1
TEL 045(813)0221 (代表)
FAX 045(813)7419 (庶務課)

URL <http://shinzen.jp>

外科手術体験キッズセミナー開催

当院にて外科手術体験キッズセミナーを8月2日(土)・3日(日)に開催しました。

このキッズセミナーは、実際の術衣に身を包み、手術機器を手に取りシミュレーションをするものであり、当日は6つのセッション(超音波メス・縫合結紮・腹腔鏡手術・手術室・自動吻合器・AED)を体験してもらいました。



今回は小学生を対象とし、1年生から6年生まで計67名が参加しました。約2時間半の間、目を輝かせて真剣に取り組んでいました。児童と共に見学されていたご家族の方は、『子供のこんな真剣な日は見たことがない』、『すごく集中して楽しそう』など普段のわが子とは違う一面を垣間見たようでした。

セミナー終了時には、一人一人に手術室で撮影した写真を取り込んだ『未来の外科医認定証』を手渡し、命の尊さや人の命を救う外科医の仕事の大切さを呼びかけました。

今回のキッズセミナーの目的は以下の3点です。

- 1 将来子供たちが外科医を目指す動機付け
- 2 医療に対する理解(地域の皆様に信頼される開かれた病院を目指して)
- 3 内視鏡外科手術の普及

国際親善総合病院では初の試みでしたが、子供たちの真剣なまなざしと満足そうな笑顔を見ることができ、キッズセミナーの成功を実感しました。このセミナーを体験した子供たちの中から将来の外科医が出てきてくれることを切に願います。



当日は50人を越える病院スタッフがボランティアとして活躍してくれたことが、この成功につながった最大の要因でありました。病院スタッフが丸となり行ったキッズセミナーは、地域に根付く、そして信頼される病院を目指す当院の地域貢献への大きな一歩であったと感じております。

外科部長 亀山 哲章

おしょうすいが気になりませんか？

尿(お小水)には血液からろ過されたからだの老廃物と水分を含んでいます。尿は腎臓で作られ、膀胱に貯められたのちに尿道から排泄されます。したがって尿の量や性状・成分は、健康のバロメーターといえます。また尿を膀胱にためる蓄尿のぐあい、尿を出す排尿の回数やさらにはその出ぐあいなどはいろいろな病気と関係しますし、皆さんも大いに関心のあるところだと思います。今月の健康懇話会は「お小水の話」として、とくに排尿に関するいろいろな症状とそれにとまなう病気について取り上げます。

1日の尿量は水分の摂取量や食事の内容によって変化しますが、健康な方ではふつう1日1,000ml~2,000mlです。また1日の排尿回数は5~6回で夜間は0~1回です。お小水の回数が多い。特に夜おやすみになってから2度も3度もトイレに行く。なかなか出にくく、トイレを済ませてもしっかりしない。お小水をもよおすと我慢ができない。時にはトイレが間に合わずおもらしてしまう。くしゃみをしたり、急に立ち上がったときにお小水がもれて下着をぬらす。このような症状は程度にもよりますが、みなさまの毎日の生活を少なからずゆううつにさせます。しかし、これらの症状の多くは適切な治療により軽快させることができます。また重大な病気が見つかる場合もありますのでこれらの症状をおろそかにはできません。

中年以降の男性に見られる前立腺肥大症さらには最近ふえてきている前立腺がんについてPSAという腫瘍マーカーを含めてお話させていただきます。また女性に多い腹圧性尿失禁や近年注目をされている過活動膀胱などについてできるだけわかりやすくお話させていただきます。

この健康懇話会をお聞きいただいて、みなさんがお小水を気持ちよくしていただきたいと願います。

病院長 村井 勝

ご案内

このテーマは
平成20年10月10日(金)15:00~約1時間の健康懇話会にて
講演予定です。

(入場無料、予約不要、どなたでもご自由にご参加ください。)